

緩和策と適応策について

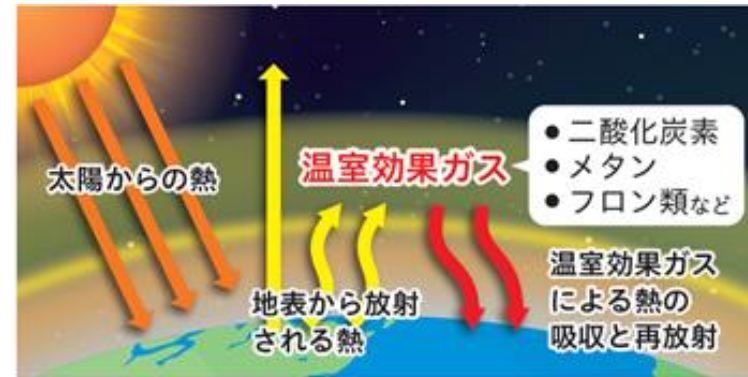
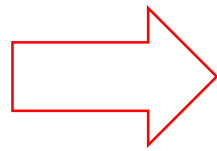
地球温暖化とは

人間の産業・経済活動が活発になり、「**温室効果ガス**」が大気中に大量に放出
地球全体の平均気温が急激に上がり始めている現象

※温室効果ガス・・・二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン類 など



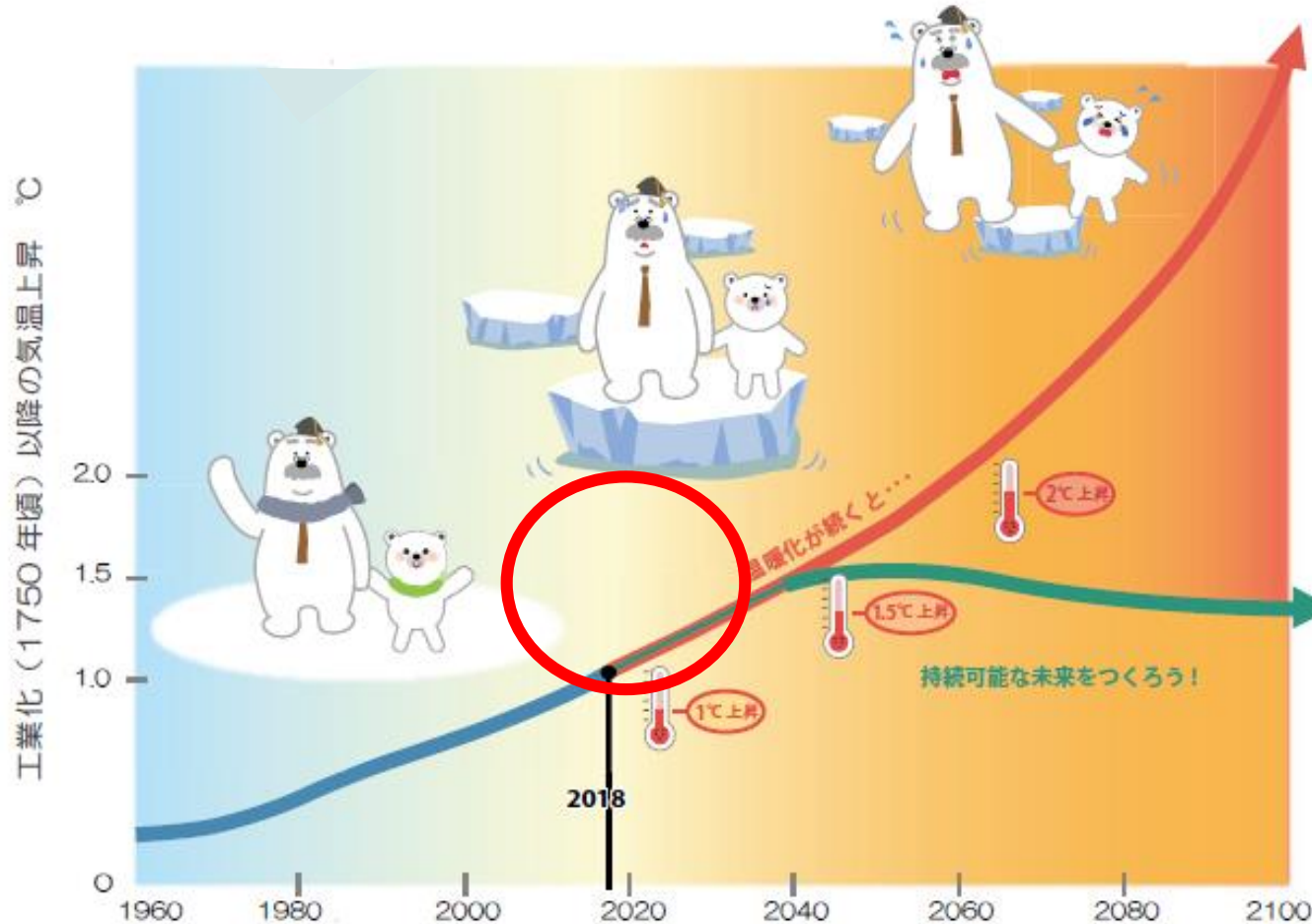
石油や石炭などを燃やすと
大気中の温室効果ガスが増える



温室効果ガスが地表の熱を閉じ込めて、地球温暖化が進む

世界平均気温の変化と予測

産業革命以降、世界の平均気温は約 1℃上昇



地球温暖化対策**未実施**

温室効果ガス排出量 **多い**

平均気温 **2.6~4.8℃**上昇

地球温暖化対策を**実施**

温室効果ガス排出量 **少ない**

平均気温 **0.3~1.7℃**上昇

地球温暖化が進むと・・・



温室効果ガスの増加

化石燃料使用による
二酸化炭素の排出など



気候要素の変化

気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位上昇など



温暖化による影響

自然環境への影響
人間社会への影響

地球温暖化を防ぐための行動

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量をへらす = 緩和策

省エネ



電源OFF



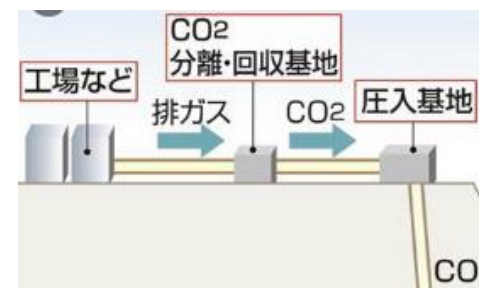
適度な温度設定



省エネ機器



エコカー



CO2封じ込め

再エネ

住宅



太陽光発電



風力発電



ZEH



LED化



環境教育



公共施設の整備



森林による吸収

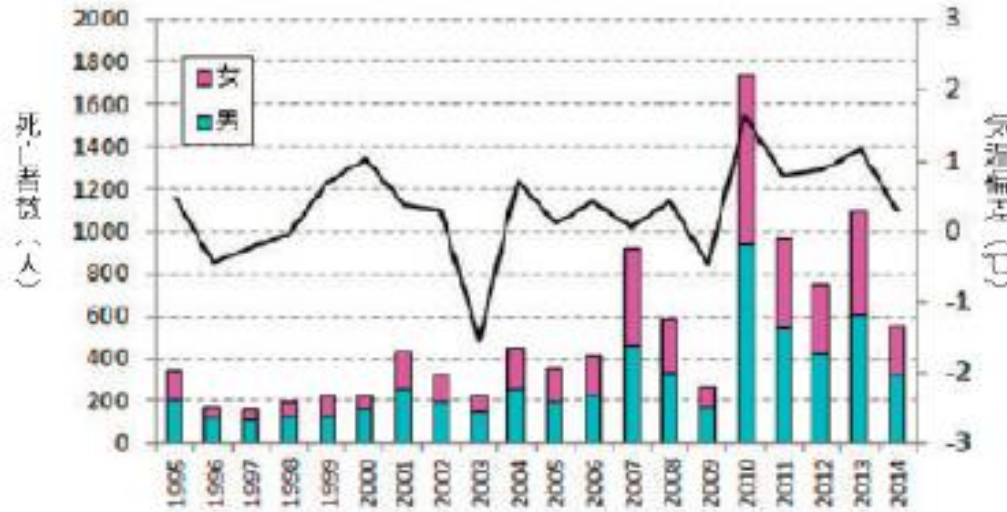
気候変動によるさまざまな影響

自然災害



鬼怒川の決壊状況

健康（熱中症・感染症）



熱中症死亡者数と年平均気温差の変化



ヒトスジシマカの生息域拡大

農林水産業

ブドウの着色不良



自然生態系

サンゴの白化

気候変動影響から身を守るための行動

気候変動影響へのリスクの軽減・回避

= 適応策

自然災害

事業主体	国	東京都
事業名	高規格堤防整備事業	スーパー堤防整備事業
断面		
整備目的	超過洪水対策 (計画を越える洪水)	耐震対策と親水性の向上
盛土の範囲	堤防の高さの約30倍 (200m~300m程度)	最大50m (背後地の土地利用による)

国の高規格堤防、都のスーパー堤防整備



土のうステーション

健康



冷房設備



敷地内緑化



雨水貯留槽の設置



避難訓練

経済



企業支援

緩和と適応



温室効果ガスの増加

化石燃料使用による
二酸化炭素の排出など



気候要素の変化

気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位上昇など



温暖化による影響

自然環境への影響
人間社会への影響

緩和

温室効果ガスの
排出を抑制する

適応

自然や人間社会の
あり方を調整する